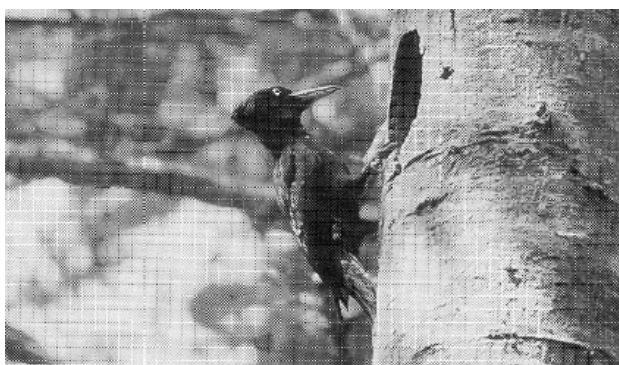


札幌市福井周辺

渋谷 弘子

我が家の周辺には砥石沢・常次沢・源八沢・宮城の沢と多くの林道があり、チョウ・野鳥・草花の種類も豊富で、早春から初冬にかけて探鳥を兼ねたハイキングコースでもあります。

よく出掛ける一つは、砥石沢林道です。ここは、札幌市の遊歩道に指定されている砥石山登山道に続き、数本の枝道が伸びていて鳥達には恰好の場と思われます。道ばたのスマレが満開の頃は、囀りも最高でアオジ・オオルリ・コルリ・キビタキ・クロジ・マミジロ・アカハラ・クロツグミ・ウグイス・ヤブサメ・セソダ



PL. クマゲラ 渋谷信六 撮影

イムシクイ・エゾムシクイ・コメボソムシクイ・カラ類などが多く、そして遠くではツツドリ・カッコウ・ジュウイチ・キジバト・キツツキのドラミソグ等も聞かれ、時にはカワガラスも出てきます。初夏になると子連れのエゾライチョウに出逢うラッキーな時もある。母親を先頭にヨチヨチ歩く様はかわいらしく、ユーモラスだ。昨秋から今年にかけて、クマゲラに出逢う事ができた。身近で生息していたのだ。晩秋は落葉を踏んで歩いていると、見通しのよくなった木立から甲高い声を響かせ、しばしば姿を見せ楽しませてくれました。

沢を2本隔てて宮城の沢がある。残雪の多い頃、林道に入って間もなくルリビタキやウソの群、美しいミソサザイの囀り。そして3日から2週間程で姿を消す小鳥達と早春から賑かです。

今年5月上旬の事、三船さんとのんびり弁当を食べている眼前に、クロツグミが降り立ち、濡れた地面をつつき始めた。こんなに近くで観たのは始めてだった。気を良くしての帰り、林道下の小川（砂防ダムより少し上）に眼をやった彼女が「アッ コマドリ！」と一声。ドキッとして双眼鏡を覗くと川辺で落葉をひっくり返し無心に餌をついばんでいる雌雄が目に入った。オレソジと黒のコソトラストが美しい。ちょっとこちらを見た。そして枯れ草の影に隠れてしまった。しばらく待ったが再度姿は見られませんでした。

探鳥を始めて6年余り、ずっと通っているこの沢筋ですが、日頃は声のみのことが多く、

姿を見たのは始めてです。ときめきの一瞬でした。この日は赤茶っぽい羽根を広げ低く飛んでゆくヤマシギにも逢いラッキーな一日でした。夕暮になるとコノハズク・ヨタカ・トラツグミの声も聞かれます。夏鳥が渡って静かになった森ではキツツキ・カラ煩・エナガ・キクイタダキが飛び廻っています。

観られる鳥は砥石沢とほぼ同種のものが多く見られます。